

授 業 概 要

(こども保育科)

授業科目名 子どもの生活と環境Ⅱ		授業の種類 (講義 ・ 演習 ・ 実習)	
授業担当者 瀧澤 延子	実務経験	私立保育園、私立幼稚園、公立保育園で 0～5歳児の保育に従事した。 また、担任業務、主任業務、実習生指導を行った	
授業の回数 15回	時間数(単位数) 30時間(2単位)	配当学年・時期 2年・前期	(必修 ・ 選択)
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>幼稚園教育要領・保育所保育指針の領域「環境」が意図しているねらいや内容をふまえ、実践や事例をとおして、幼児にとっての身近な環境の特性を明らかにする。</p> <p>学生自身が身近な環境に好奇心や探究心をもち、幼児の生活と結びついた保育の展開を身につける。</p> <p>[授業全体の内容の概要]</p> <p>日常生活のさまざまな場面で、幼児がかかわる人的環境、物的環境、自然環境について演習を交えながら学習する。そこから幼児が身近な環境に興味・関心を持ってかかわる力を育てるにはどうしたらよいか、各自で解答を導き出す。</p> <p>[授業終了時の達成課題(到達目標)]</p> <p>幼児が成長していく過程において、生活の中で出会う全ての物が大切な環境である。保育者はその環境が幼児の成長を促すものとするために、抽象的な知識を教えるのではなく具体的な直接体験として、身近な環境を通して、主体的の行動できる力を育てていく保育とはどのような保育であるか、考える。</p>			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] コマ数 (15回までの場合はセル結合)			
1～2. 自然に親しみ、動植物に触れる 野菜を栽培<各グループで栽培する(野菜)カレンダーを作る> 自然の中で形を探す<県立図書館裏の公園に於いて> 3. 人的環境としての保育者のあり方について<具体的な場面を通して> 4～5. 自然環境の構成①<校外に出る> 6～7. 自然環境の構成②<防災公園に行く> “フィールドビンゴ”で遊ぶ 8～9. 自然とのかかわりの年間指導計画を立案する。季節を保育に取り入れる工夫(雨の中で遊ぶ) 10. 科学遊びの構成① 物の性質や仕組み、用具の使い方 11. 科学遊びの構成② 遊び方の工夫や保育者の援助 12. 五感を刺激する保育とは 子どもの好奇心、探究心を育てる保育とは 13. 数量と図形の生活遊びの指導計画を立案する 14. 保育環境を考える 15. 試験			

[使用テキスト・参考文献]	<ul style="list-style-type: none"> ・「事例で学ぶ保育内容 環境」無藤隆 萌文書林 ・適宜プリントを配布する ・保育所保育指針
[単位認定の方法及び基準]	<ul style="list-style-type: none"> ・教科出席率が80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。 1. 考查点(85%) 到達目標の修得状況を測るために、各回で実施した確認テストを編集した期末考查により算出する。 2. 平常点(15%) <ul style="list-style-type: none"> ・授業への参加状況では発言回数が複数回である点を評価する。(5%) ・提出課題において、到達目標の6割以上に達している点を評価する(10%)。

授 業 概 要

(こども保育科)

授業科目名 子育て支援		授業の種類 (<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習)	
授業担当者 羽瀧 めぐみ	実務経験	公立・私立保育園、認定こども園にて0～4歳の保育、一時保育、子育て支援、保護者支援。こども発達相談室にて発達支援・相談業務などに従事した。	
授業の回数 15回	時間数(単位数) 30時間(1単位)	配当学年・時期 2年・前期	(<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択)
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士の行う保育の専門性を背景とした保護者に対する相談・助言、情報提供、行動見本の提示等の支援(保育相談支援)について、その特性と展開を具体的に理解する。保育士の行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、実践事例等を通して具体的に理解する。 <p>[授業全体の内容の概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所・認定こども園などにおいて保育者が行う子育て支援の理論やその方法について学ぶ。 <p>[授業終了時の達成課題(到達目標)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子どもの育ち」に繋がる子育て支援のあり方とその意義について理解する。 ・子育て支援における保育者の役割と職務内容を把握する。 ・さまざまな人々と連携した支援方法の基礎を習得する。 			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] コマ数			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 子育て支援と何か・子育て支援の意義 2. 子育て支援の基本的価値・倫理 3. 子育て支援の基本的姿勢 4. 子育て支援の基本的技術 5. 園内・園外との連携と社会資源 6. 記録・評価・研修 7. 日常会話を活用した子育て支援 8. 文書を活用した子育て支援 9. 行事などを活用した子育て支援 10. 環境を活用した子育て支援 11. 地域子育て支援拠点における支援 12. 入所施設における子育て支援 13. 通所施設における子育て支援 14. 「子育て支援」の学びのまとめ 15. 期末試験 			
[使用テキスト・参考文献]		<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援～15のストーリーで学ぶワークブック～ 萌文書林 ・子育て支援 ミネルヴァ書房 	

[単位認定の方法及び基準]	<ul style="list-style-type: none">・教科出席率が 80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。1. 考查点(85%) 到達目標の修得状況を測るために、各回で実施した確認テストを編集した期末考查により算出する。2. 平常点(15%)<ul style="list-style-type: none">・授業への参加状況では発言回数が複数回である点を評価する。(5%)・提出課題において、到達目標の6割以上に達している点を評価する(10%)。
---------------	---

授 業 概 要

(こども保育科)

授業科目名 専門演習 I		授業の種類 (講義 ・ 演習 ・ 実習)	
授業担当者 佐藤 恵美子	実務経験	私立保育園にて未満児の保育。私立幼稚園にて3, 4, 5歳児の担任。公立小学校にて特別支援学級の介助員などに従事した。	
授業の回数 15回	時間数(単位数) 30時間(2単位)	配当学年・時期 2年・前期	(必修 ・ 選択)
[授業の目的・ねらい] 保育実習の経験から子どもの観察や関わりの視点を振り返り、総合的に保育者の本質的精神・保育技術を習得する。			
[授業全体の内容の概要] ・既習の教科や実習の経験を踏まえ、施設の役割・機能・社会的役割について具体的に理解を深めるとともに、保育の専門家としての見識を持てるよう学習を行う。 ・保育実習体験報告会を通して、自らの実習体験を振り返る。			
[授業終了時の達成課題(到達目標)] ・保育者養成における学びが実際の保育にどのようなつながっていくのか、学生自身が各々の課題に気づき、自ら保育者にふさわしい資質を養おうとする態度を持つようにする。 ・保育実習体験報告会で、他者と自らの体験と比較し共有することで、新たな保育観や子ども観を見出し、お互いの学びにつなげる。			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] コマ数			
1. 実習を振り返り実習生としての姿勢を評価する 2. 実習を振り返り子どもへの対応を評価する 3. 評価とは何か～自己評価と他者評価～ 4. 実習の課題の達成度を振り返る 5. 実習を通して印象に残ったことを振り返る 6. 保育者から学んだことを振り返る 7. 子ども達から学んだことを振り返る 8. 部分実習の成功・失敗体験を振り返る 9. 実習園の指導者からのアドバイスを振り返る 10. 実習を終えて自分自身の変化を明確にする 11. 今後の課題を明確にする 12. 今後の課題克服に向けての取り組みを明確にする 13. 他者と学びを共有する(各自学びを発表) 14. 他者と学びを共有する(各自学びを発表) 15. 保育実習体験報告会を通しての学び・気づきをまとめる			
[使用テキスト・参考文献]		適宜プリントを配布	

[単位認定の方法及び基準]	<ul style="list-style-type: none">・教科出席率が 80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。 <p>1.平常点(100%)</p> <ul style="list-style-type: none">・授業への参加状況では積極的態である点を評価する。(30%)・提出課題において、到達目標の6割以上に達している点を評価する(70%)。
---------------	--

授 業 概 要

(こども保育科)

授業科目名 乳児保育Ⅱ		授業の種類 (講義 ・ 演習 ・ 実習)	
授業担当者 佐藤 恵美子	実務経験	私立保育園にて未満児の保育。私立幼稚園にて3, 4, 5歳児の担任。公立小学校にて特別支援学級の介助員などに従事した。	
授業の回数 15回	時間数(単位数) 30時間(1単位)	配当学年・時期 2年・前期	(必修 ・ 選択)
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>3歳未満児の発育・発達過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方を理解し、具体的な養護や配慮、関わり方を習得する。</p> <p>[授業全体の内容の概要]</p> <p>「乳児保育Ⅰ」で得た知識を基に、保育所における3歳未満児の基本的生活に沿って、その特徴を踏まえた各時期に必要な保育方法について、演習を通して習得していく。</p> <p>[授業終了時の達成課題(到達目標)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所における乳児保育の基本的養護を実践できる。 ・ 3歳未満児の各時期の発達の特徴を踏まえた援助のポイントがわかる。 ・ 3歳未満児の各時期の発達の特徴を踏まえた保育方法がわかる。 			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] コマ数			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 乳児の「泣き」について 2. 人工栄養と母乳栄養 3. 調乳演習 4. 離乳食の基礎知識 6/23 5. 離乳食調理演習 6/30 6. 離乳食の実際 7/7 7. 乳児期のかみつき 8. 乳児への保健的対応②(検温・身体測定) 7/21 9. 乳児への保健的対応演習 7/28 10. 乳児のイヤイヤ期 11. 排泄の自立に向けた援助 12. 乳児保育の環境と安全対策 13. 乳児への保健的対応①(授乳・歯磨き)法 7/14 14. 「乳児保育Ⅱ」の学びのまとめ 8/4 15. 試験 8/7 			
[使用テキスト・参考文献]		テキスト乳児保育改定新版	

[単位認定の方法及び基準]	<ul style="list-style-type: none">・教科出席率が 80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。1. 考查点(85%) 到達目標の修得状況を測るために、各回で実施した確認テストを編集した期末考查により算出する。2. 平常点(15%)<ul style="list-style-type: none">・授業への参加状況では発言回数が複数回である点を評価する。(5%)・提出課題において、到達目標の6割以上に達している点を評価する(10%)。
---------------	---

授 業 概 要

(こども保育科)

授業科目名 保育実習指導Ⅱ		授業の種類 (講義 ・ 演習 ・ 実習)	
授業担当者 羽瀧 めぐみ	実務経験	公立・私立保育園、認定こども園にて0～4歳の保育、一時保育、子育て支援、保護者支援。こども発達相談室にて発達支援・相談業務などに従事した。	
授業担当者 佐藤 恵美子	実務経験	私立保育園にて未満児の保育。私立幼稚園にて3, 4, 5歳児の担任。公立小学校にて特別支援学級の介助員などに従事した。	
授業の回数 15回	時間数(単位数) 30時間(1単位)	配当学年・時期 2年・前期	(必修 ・ 選択)
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>保育実習の意義や目的を理解し、実習に向けた目的意識を高め、課題を持って実習に取り組めるように学ぶとともに、実習記録に関する指導、指導案の考え方や教材準備、保育実技など、実習を円滑に進めるための知識や技能を習得する。</p> <p>[授業全体の内容の概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの観察や関わりの視点を明確にすることを通して、保育の理解を深める。 ・子どもの保育及び保護者支援について総合的に学ぶ。 ・保育計画、実践、観察、記録等について実際に取り組み、理解を深める。 <p>[授業終了時の達成課題(到達目標)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士としての意識を高め、技術を習得することができる。 ・自らの保育実習における課題を明確にして取り組み、保育者として豊かな人間性を育む。 			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] コマ数			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育実習Ⅰ(施設)の実習予定先施設について調べる、誓約書と調書の作成 2. 実習に臨むにあたり記入(下書き) 3. オリテの話をし、予約を取る・概要用紙配布・巡回担当発表 4. 入所児(者)についてビデオの視聴、頭髪検査 5. 車いす、着脱実習 6. 施設実習の日記の書き方、日々のねらい作成、持ち物検査 7. 日記用紙配布、ラジオ体操 8. 保育実習Ⅱ(保育所)の実習予定先施設について調べる、誓約書と調書の作成 9. 実習に臨むにあたり記入(下書き) 10. オリテの話と予約・概要用紙配布・巡回担当発表 11. 指導案作成 12. 持ち物検査・頭髪検査、日々のねらい作成 13. 保育の場面を想定した気づきの練習 14. 日記(DVD)を観て気づきの書き起こし、歯磨き指導について 15. 日記用紙配布、責任実習の流れ確認 			

[使用テキスト・参考文献]	・ m e w保育教本 ・ 子どもの育ちと実習日誌・指導計画（萌文書林） ・ 実習の手引き（本校作成冊子） ・ 必要に応じて資料プリントを配布
[単位認定の方法及び基準]	出席・提出物・授業態度などの状況から判断する。

授 業 概 要

(こども保育科)

授業科目名 保育実習指導Ⅲ		授業の種類 (講義 ・ 演習 ・ 実習)	
授業担当者 羽瀧 めぐみ	実務経験	公立・私立保育園、認定こども園にて0～4歳の保育、一時保育、子育て支援、保護者支援。こども発達相談室にて発達支援・相談業務などに従事した。	
授業担当者 佐藤 恵美子	実務経験	私立保育園にて未満児の保育。私立幼稚園にて3、4、5歳児の担任。公立小学校にて特別支援学級の介助員などに従事した。	
授業の回数 15回	時間数(単位数) 30時間(1単位)	配当学年・時期 2年・前期	(必修 ・ 選択)
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>施設の一日の流れを把握し、入所児童や入所者とコミュニケーションを図ることにより利用者の理解を深め、施設の意義と今日的役割を理解する。</p> <p>[授業全体の内容の概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育実習Ⅰ(施設)の経験を踏まえ、保育所以外の児童福祉施設等の役割や機能について、実践を通して理解を深める。 ・ 家庭と地域の生活実態に触れ、保護者支援や家庭支援のための知識や技術、判断力を養う。 ・ 保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結びつけて理解するとともに、保育士としての自己の課題を明確化する。 <p>[授業終了時の達成課題(到達目標)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の概要を把握し、施設に実際に理解すると共に、利用者や施設の意義を学ぶ。 ・ 保育士としての意識を高め、技術を習得することができる。 ・ 自らの施設実習における課題を明確にして取り組み、保育者として豊かな人間性を育む 			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] コマ数			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育実習Ⅰ(施設)の実習予定先施設について調べる、誓約書と調書の作成 2. 実習に臨むにあたり記入(下書き) 3. オリテの話をし、予約を取る・概要用紙配布・巡回担当発表 4. 入所児(者)についてビデオの視聴、頭髪検査 5. 車いす、着脱実習 6. 施設実習の日誌の書き方、日々のねらい作成、持ち物検査 7. 日誌用紙配布、ラジオ体操 8. 保育実習Ⅲ(施設)の実習予定先施設について調べる、誓約書と調書の作成 9. 実習に臨むにあたり記入(下書き) 10. オリテの話と予約・概要用紙配布・巡回担当発表 11. 支援案作成 12. 持ち物検査・頭髪検査、日々のねらい作成 13. 日常生活場面を想定した気づきの練習 14. DVDを観て気づきの書き起こし 15. 日誌用紙配布、責任実習の流れ確認 			

[使用テキスト・参考文献]	<ul style="list-style-type: none">・ Mew 教本・ 福祉施設実習ガイドブック (みらい)
[単位認定の方法及び基準]	<ul style="list-style-type: none">・ 教科出席率が 80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。・ 出席・課題、提出物・授業態度などの状況から判断する